授業科目 成人看護学方法論Ⅱ	担当講師名 専任教員名	単位数 2	時間数 60	履修年次・前/後 2年次/ 前期
講義のねらい	1　成人期の機能障害のある患者の看護について理解する。			

授業形態	講義・演習	教科書	担当及び時間
講義内容	1 呼吸機能障害のある患者の看護 1)原因と障害の程度のアセスメントと看護 2)症状緩和に向けての看護 3)検査・処置を受ける患者の看護 4)治療を受ける患者の看護 5)呼吸器疾患を持つ患者の看護 (1)腫瘍(2)炎症性疾患(3)慢性閉塞性肺疾患(4)気管支喘息 デモンストレーション:排痰法　体位ドレナージ	❶	14
	2 循環機能障害のある患者の看護 1)原因と障害の程度のアセスメントと看護 2)症状緩和に向けての看護 3)検査・処置を受ける患者の看護 4)治療を受ける患者の看護 5)疾患を持つ患者の経過と看護 心不全、虚血性心疾患、弁膜症、不整脈、閉塞性動脈硬化症(下肢動脈硬化症)、 デモンストレーション:心電図	❷	14
	3 脳神経機能障害のある患者の看護 1)原因と障害の程度のアセスメント 2)症状のある患者の看護 3)検査・処置を受ける患者の看護 4)治療を受ける患者の看護 5)疾患を持つ患者の経過と看護 (1)脳血管障害(2)脳腫瘍(3)感染症	❸	14
	4 感覚機能障害のある患者の看護 1)原因と障害の程度のアセスメントと看護 2)症状緩和のための看護 3)検査・処置を受ける患者への看護 4)治療を受ける患者への看護 5)疾患を持つ患者の経過と看護　(1)中途視覚障害者　(2)突発性難聴　(3)メニエール病　(4)副鼻腔炎	❹❺❻ ❼	8
	5 運動機能障害のある患者の看護 1)原因と程度のアセスメントと看護 2)症状緩和に向けての看護 3)検査を受ける対象への看護 4)治療を受ける患者への看護　デモストレーション:介達牽引 5)病期や機能障害に応じた看護 関節リウマチ、椎間板ヘルニア、四肢切断後	❽	10

教科書	系統看護学講座　専門分野　成人看護学　❶呼吸器②　❷循環器③　❸脳・神経⑦　❹皮膚⑫　❺眼⑬　❻耳鼻咽喉⑭　❼歯・口腔⑮　❽運動器⑩　(医学書院)
参考文献	3　必要に応じて資料を配付する。　　4　必要に応じてDVDを視聴する。
評価方法	終講試験　1・2　各50点　合計100点　　終講試験　3　50点　4・5各25点　合計100点
備考欄	解剖生理学、疾病治療論、成人看護学概論を受講しておくこと。 教員とのコンタクトは授業終了講時に案内する。